年間授業計画　様式例

# 高等学校 令和５年度（2学年用） 教科　　公民　　科目 公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　G　組

教科担当者：（　A～G組：杉浦）

使用教科書：（ 清水書院『高等学校 公共』　　）

教科　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】・新聞や白書、先哲の文章などの諸資料を読み解き、まとめる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】・現代の諸課題を構造的にとらえ、先哲の思想と結びつけ、見方・考え方を働かせて考察する力を身に付け

【学びに向かう力、人間性等】・現代の諸課題を出発点に自己や他者と対話し、社会を問い直し、考え続ける態度を身に付ける。

科目　公共　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| ・新聞や白書、先哲の文章などの諸資料を読み解き、まとめる力を身に付ける。 | ・現代の諸課題を構造的にとらえ、先哲の思想と結びつけ、見方・考え方を働かせて考察する力を身に付ける。 | ・現代の諸課題を出発点に自己や他者と対話し、社会を問い直し、考え続ける態度を身に付ける。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 「青年期の課題」<br>上記テーマを本科目の【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】の目標に沿って指導する（以下略） | ・自己形成の理論<br>・青年期の心理学 | 【知識・技能】<br>新聞や白書、先哲の文章などの諸資料を読み解き、まとめる力を身に付けようとしている。<br>【思考・判断・表現】<br>現代の諸課題を構造的にとらえ、先哲の思想と結びつけ、見方・考え方を働かせて考察する力を身に付けようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>現代の諸課題を出発点に自己や他者と対話し、社会を問い直し、考え続ける態度を身に着けようとしている。<br>※上記の観点で評価するために、考査の論述問題、レポートなどの成果物（パフォーマンス課題）の到達度も含めて総合的に評価する。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「地域社会と選挙」 | ・地方自治 | | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「現代社会と倫理・哲学」 | ・人間の特質と文明社会<br>・ギリシア哲学、帰結主義、義務論<br>・立憲主義、正義論 | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「宗教と人間」 | ・旧約聖書、イエスの教えと教父哲学<br>・ブッダと大乗仏教、中国思想<br>・イスラームの世界 | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | 「平和」 | ・国連、憲法<br>・フランクフルト学派、アーレント | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「司法」「経済」 | ・死刑、裁判員制度<br>・経済思想、市場<br>・金融、財政、企業 | | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「国際人権」「労働」 | ・移民・難民、貿易<br>・社会主義、労働法 | | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 「ディベート」 | ・現代社会の諸課題<br>（生命.環境.文化）<br>・政策討論 | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 「模擬政党づくり、模擬投票」<br>「将来を考える」 | ・政党づくり<br>・政策づくり<br>・実存主義<br>・18歳成人 | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |